

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

日本とアジアをつなぐ投資会社として、少子高齢化が進む社会に安心・安全で質と生産性の高い未来を創造する

投資開発事業AUM増
150億円

投資運用事業AUM増
300億円

ファンド・プラットフォーム
4,000億円

ROE
13.4%以上

② 中長期の経営戦略

1. 三事業領域の再定義と拡大

投資開発事業、投資運用事業、ファンド・プラットフォーム事業を新たな事業方針に基づいて拡大

3. プライベート・リアルアセット開発

インフレヘッジやディフェンシブ特性を持つプライベート・リアルアセットのパイプライン開発

2. 外部資金を活用した投資

ファンド組成や融資調達により外部資金を活用し、自己資金負担を減らしてフィー収入を拡大

4. 国内外向け資産運用サービス

機関投資家やファミリーオフィス向けに伝統的・非伝統的資産クラスで投資手法を提供

③ 対処すべき課題

① PBR改善とROE向上

- 安定収益の拡大：フィー収入で固定費をカバーし黒字化を定着
- 資産回転率の改善：長期滞留資産を早期回収し資産を入れ替え
- 財務レバレッジ改善：リファイナンス実現と新規借入金による資金調達

② 投資利益率と資産回転率低下

- PBRが1倍を下回る状態が継続
- 資本コスト約13.4%並みのROE実現を目指す
- IR活動のアップデートと積極展開

③ 中期経営計画達成と進捗管理

- 2025年3月期はAUM増加額が計画下回る（投資開発14億円、投資運用15億円）
- 2026年3月期はKPI目標値を下回る見込みだが2027年3月期での達成見込み

面接で使えるポイント

- 日本とアジアをつなぐ投資会社として、プライベート・リアルアセットやテクノロジー企業への投資を通じた成長戦略
- 外部資金活用によるフィー収入拡大で、2027年3月期にROE13.4%以上と黒字化の定着を目指す経営方針
- ジャイク事務サービスがファンド・プラットフォーム事業でAUA4,000億円達成を目指す、ミドル・バック業務の支援

証券コード 8518

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに
金融業界に属する投資会社であり、スタンダード市場に上場している

主力事業・セグメント

・証券、商品先物取引業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
21億円営業利益率
▲19.5%財務健康度
40点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 49.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
811万円

証券、商品先物取引業内 20位/36社

平均年齢
47.0歳

証券、商品先物取引業内 6位/36社

平均勤続
13.0年

証券、商品先物取引業内 12位/36社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: エボ ファンド(Evo Fund)が日本アジア投資株式会社に

